

○近年の少雨化傾向による実力評価

表-1

施設	開発量(m3/s)	実力評価(%) (充足率)※	供給能力(m3/s)
淀川第1期河水統制前自流	13.380	80	10.704
淀川第1期河水統制	14.658	80	11.726
長柄可動堰	10.000	80	8.000
正蓮寺川利水	8.500	80	6.800
琵琶湖開発	40.000	80	32.000
天ヶ瀬ダム	0.300	100	0.300
★天ヶ瀬ダム再開発	0.600	100	0.600
★丹生ダム	3.230	100	3.230
★大戸川ダム	0.512	84	0.430
日吉ダム	3.700	58	2.146
室生ダム	1.600	64	1.024
青蓮寺ダム	2.490	83	2.067
高山ダム	5.000	72	3.600
比奈知ダム	1.500	100	1.500
布目ダム	1.136	85	0.966
★川上ダム	1.111	95	1.055
一庫ダム	2.500	57	1.425
★余野川ダム	1.160	86	0.998

★は計画中ダム

※実力評価： 検討期間S54～H10の20年間で2位(1/10)の渇水において
 (充足率) 計画時の開発量に対する実力の割合

表-2

大阪府 水利権(m3/s)	大阪府 実力(m3/s)
2.500	2.000
1.520	1.216
1.773	1.418
15.753	12.602
1.576	0.914
0.839	0.696
1.824	1.313
25.785	20.159

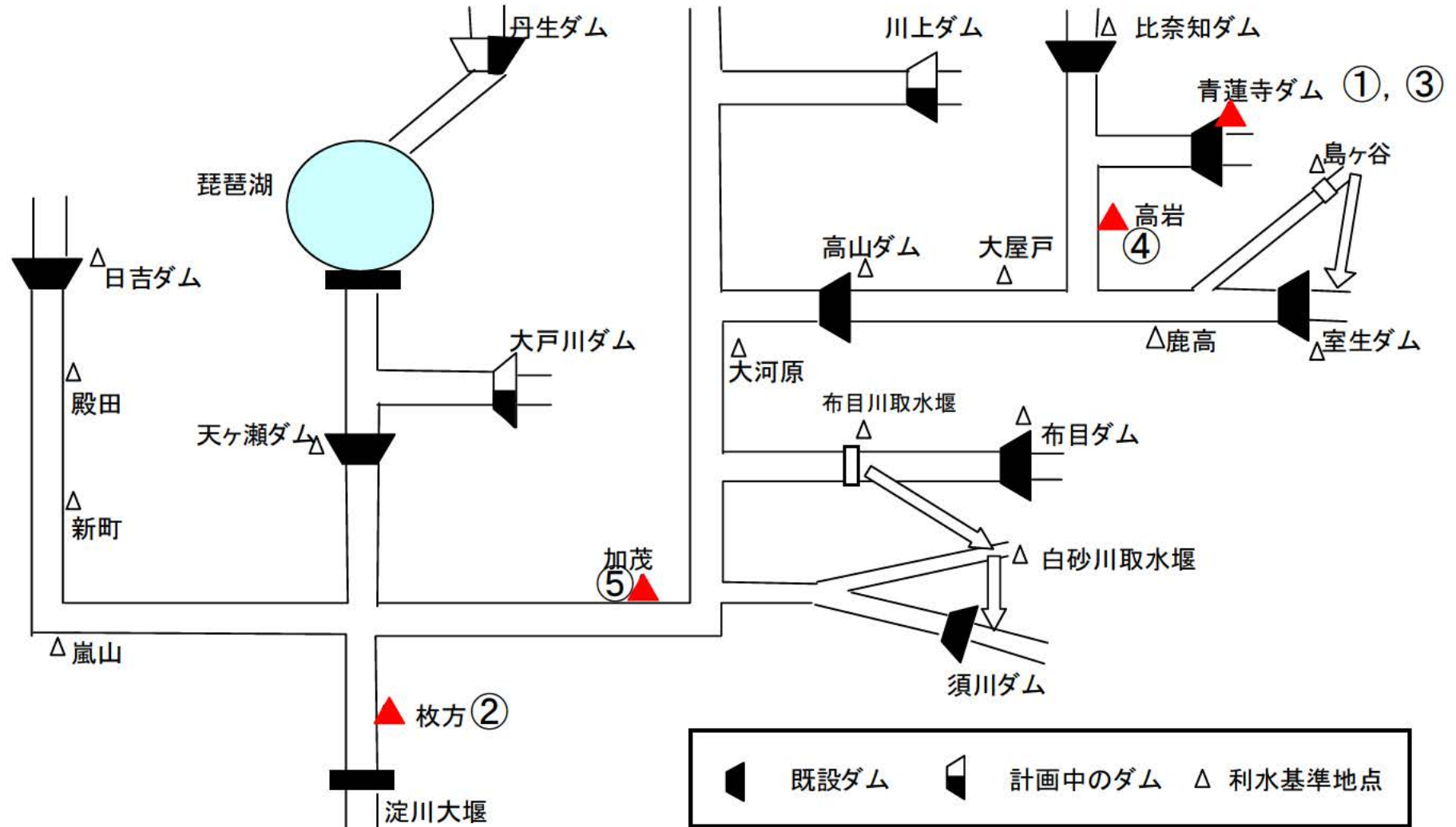
20.159/25.785= 78%

表-1は、H16年9月に利水者との情報交換会で整備局より提示

表-2は、大阪府営水道分の水量を集計

○近年の少雨化傾向による実力評価

既設ダムの利水基準地点

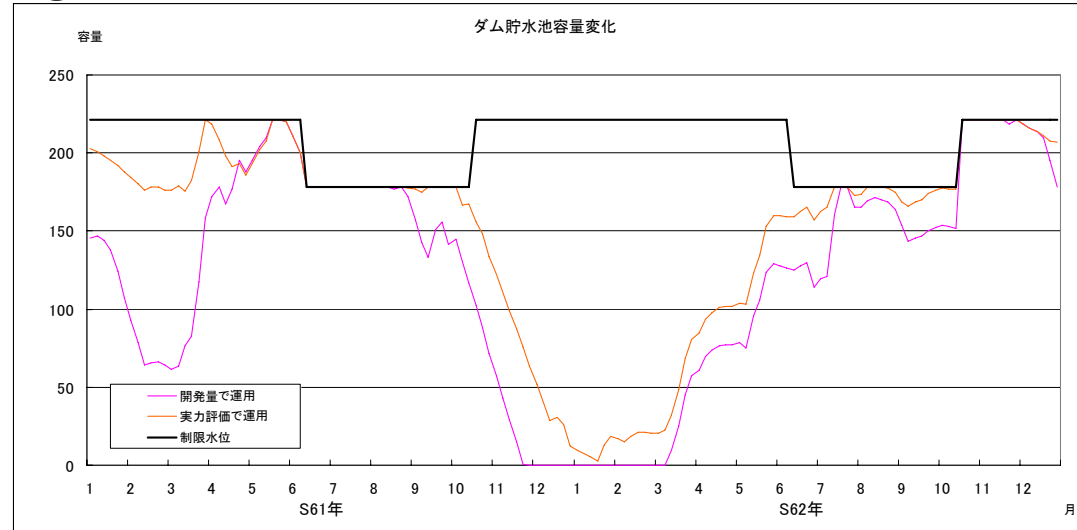


▲は青蓮寺ダムの利水基準地点のうちの補給対象地点

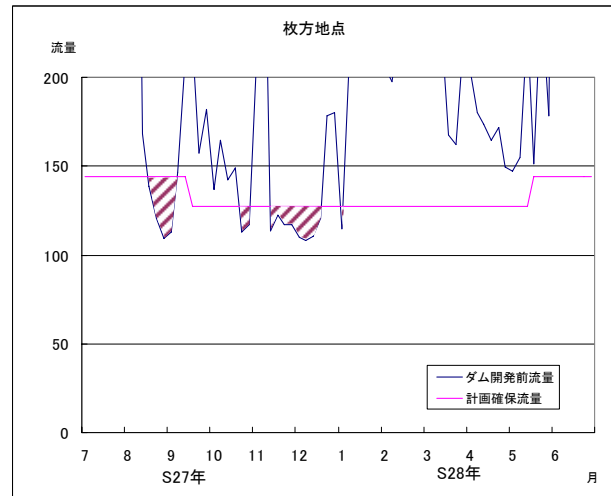
○付き数字は図面番号

○近年の少雨化傾向による実力評価

図①

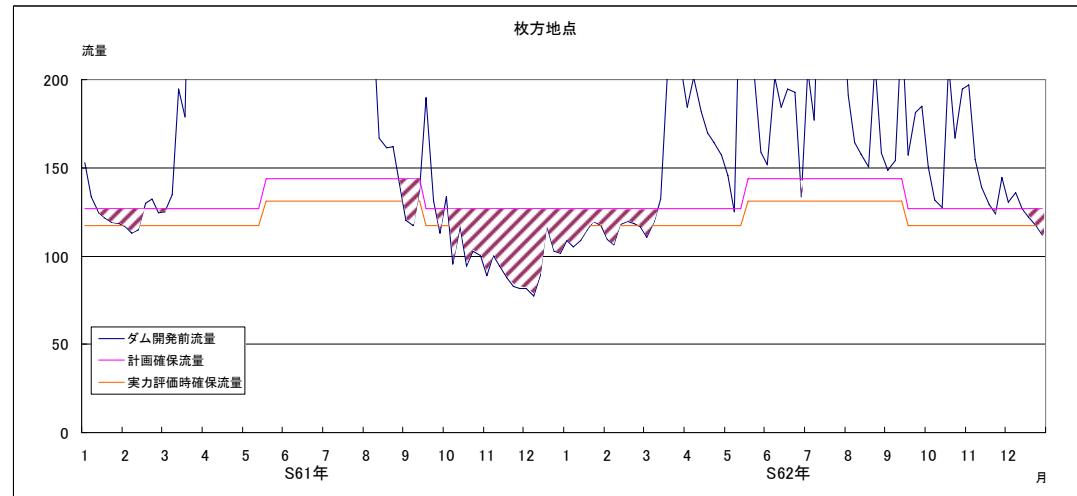


図②



ダム計画時

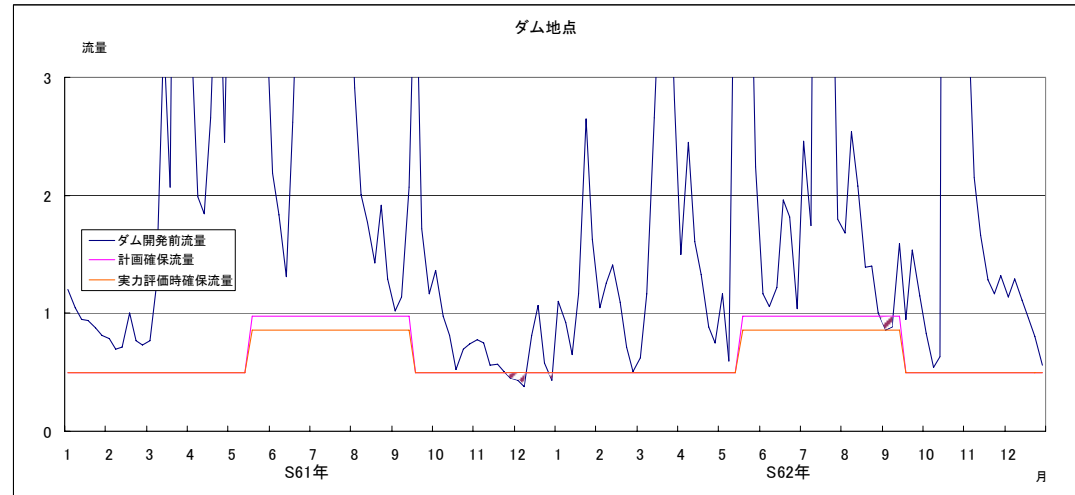
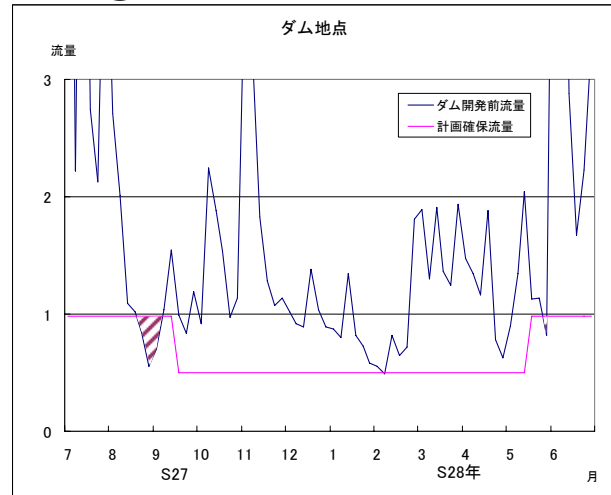
近年の流況



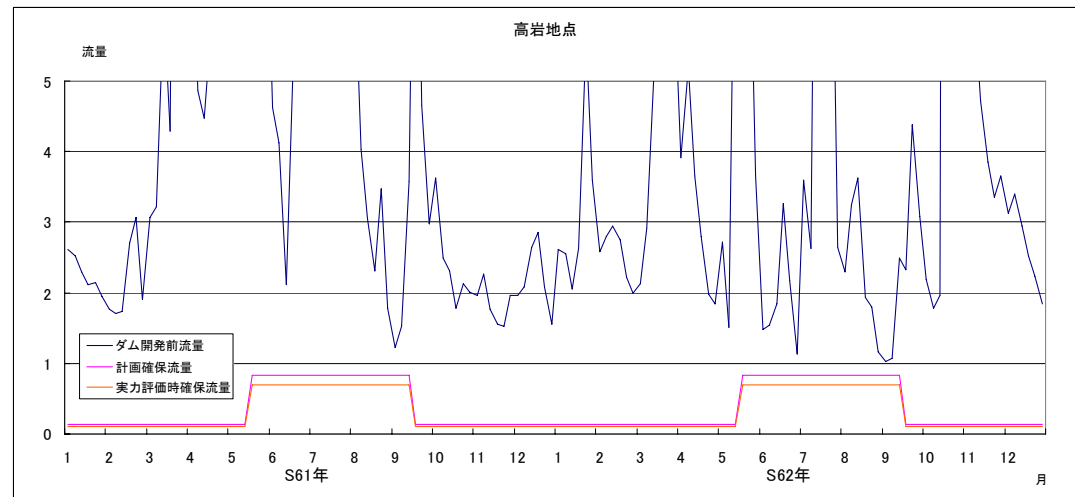
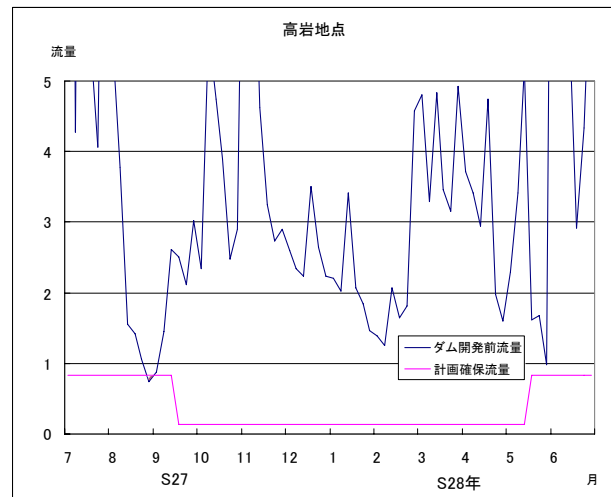
近年の流況

○近年の少雨化傾向による実力評価(参考)

図③



図④

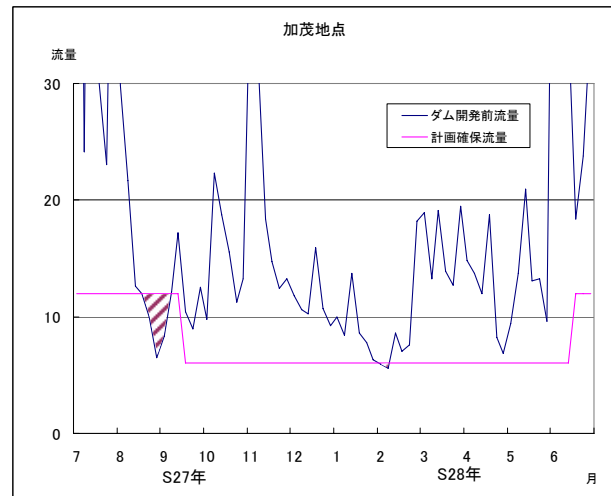


ダム計画時

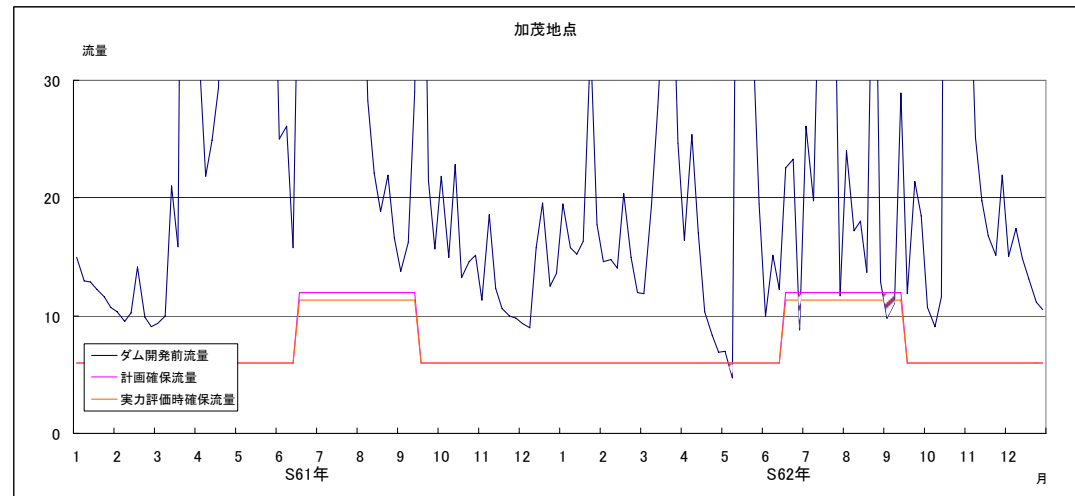
近年の流況

○近年の少雨化傾向による実力評価(参考)

図⑤



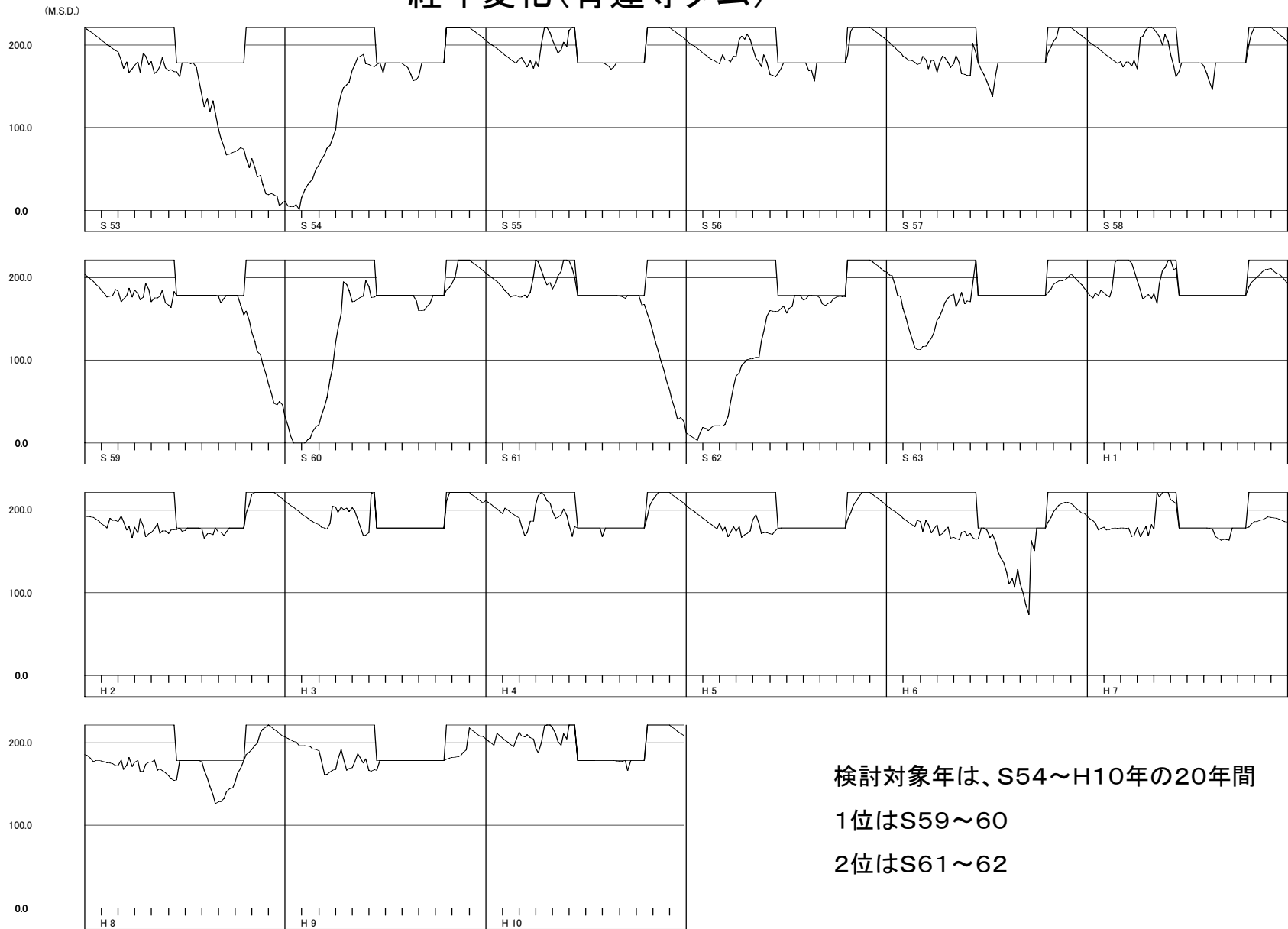
ダム計画時



近年の流況

○近年の少雨化傾向による実力評価(参考)

経年変化(青蓮寺ダム)



検討対象年は、S54～H10年の20年間

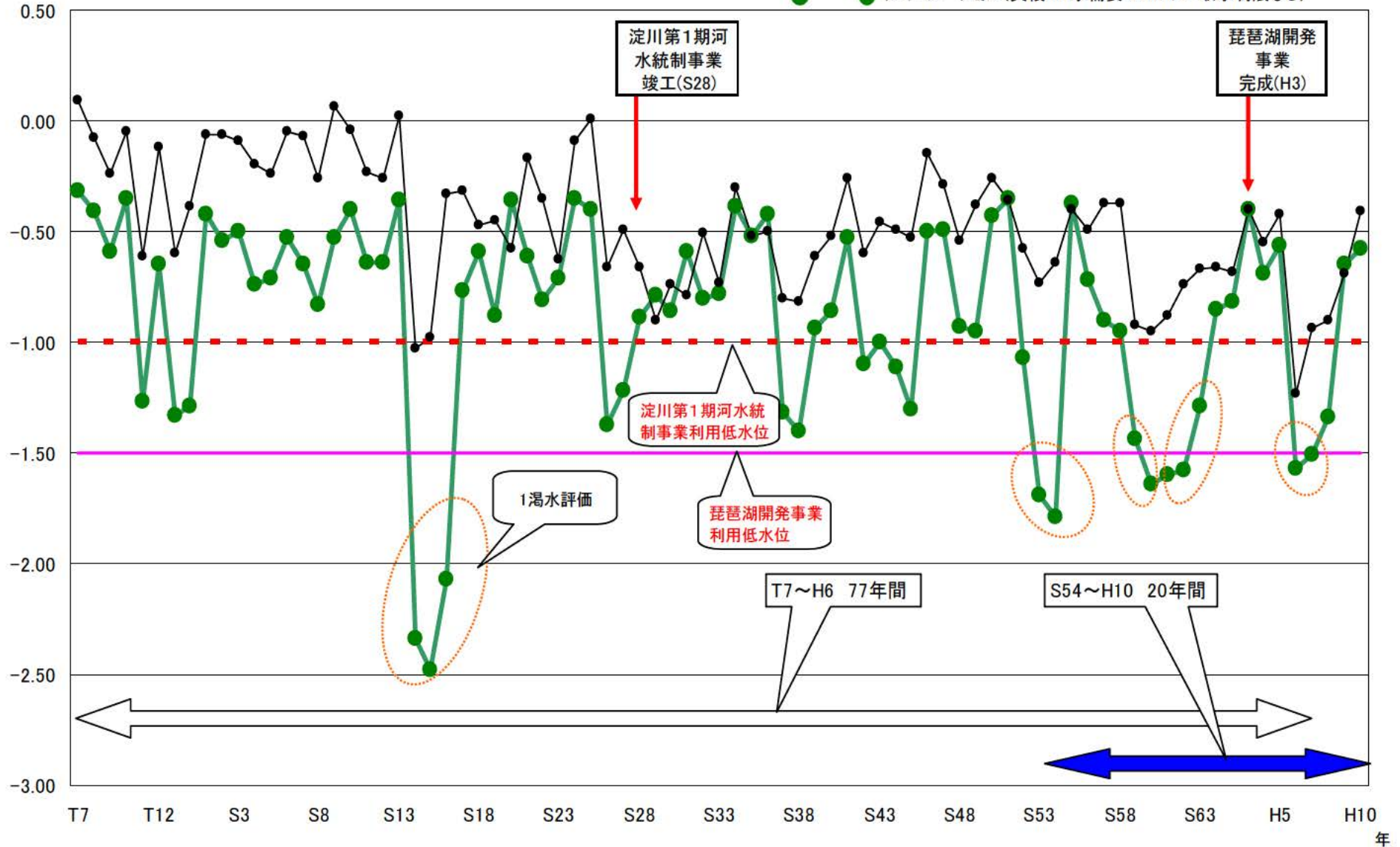
1位はS59～60

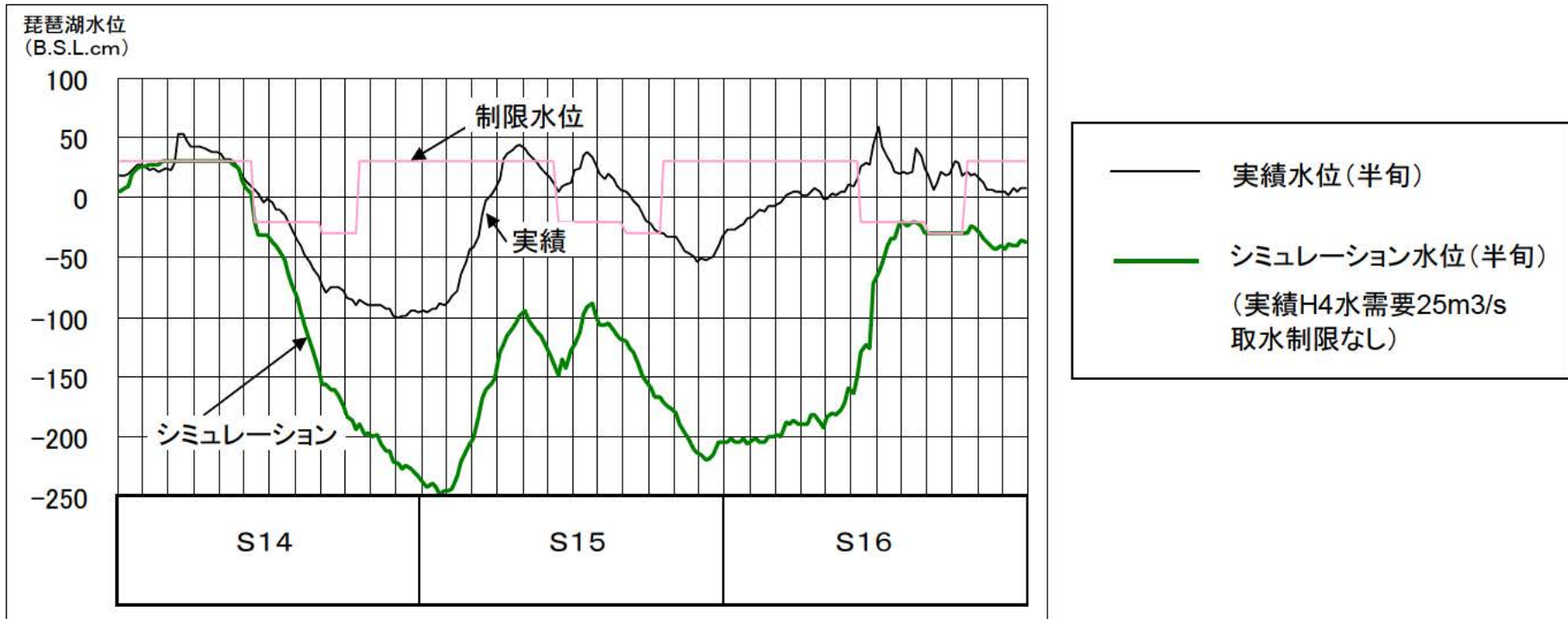
2位はS61～62

琵琶湖水位
(B.S.L.m)

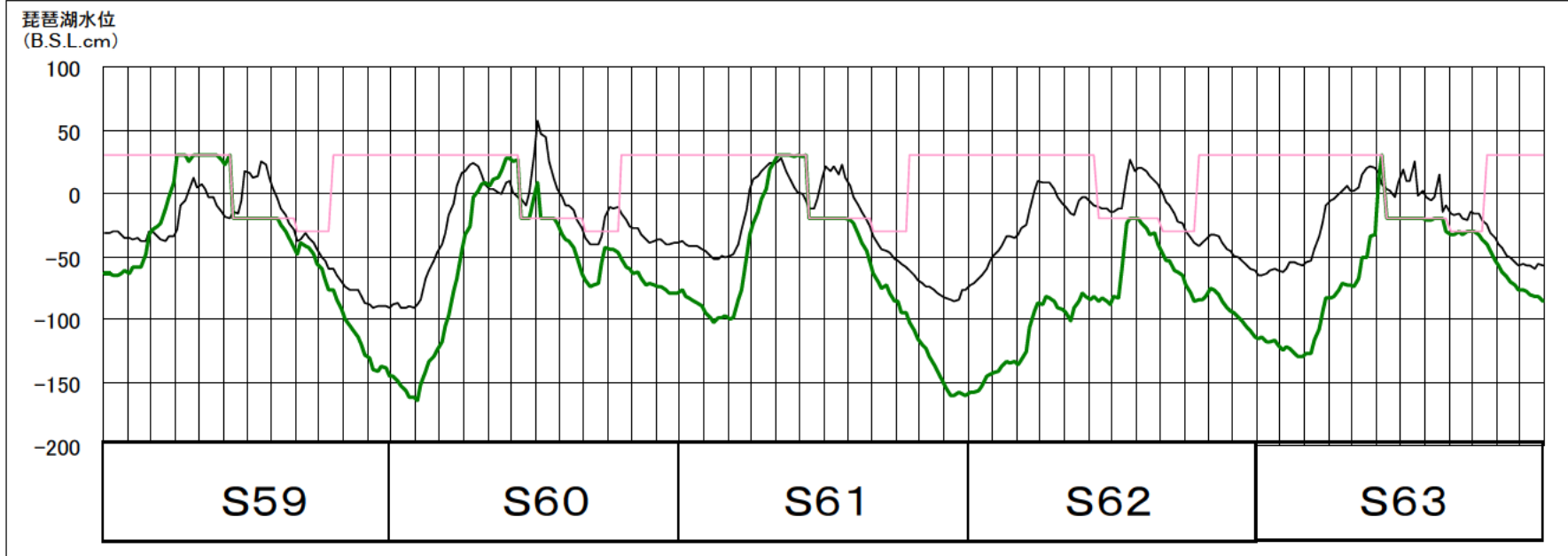
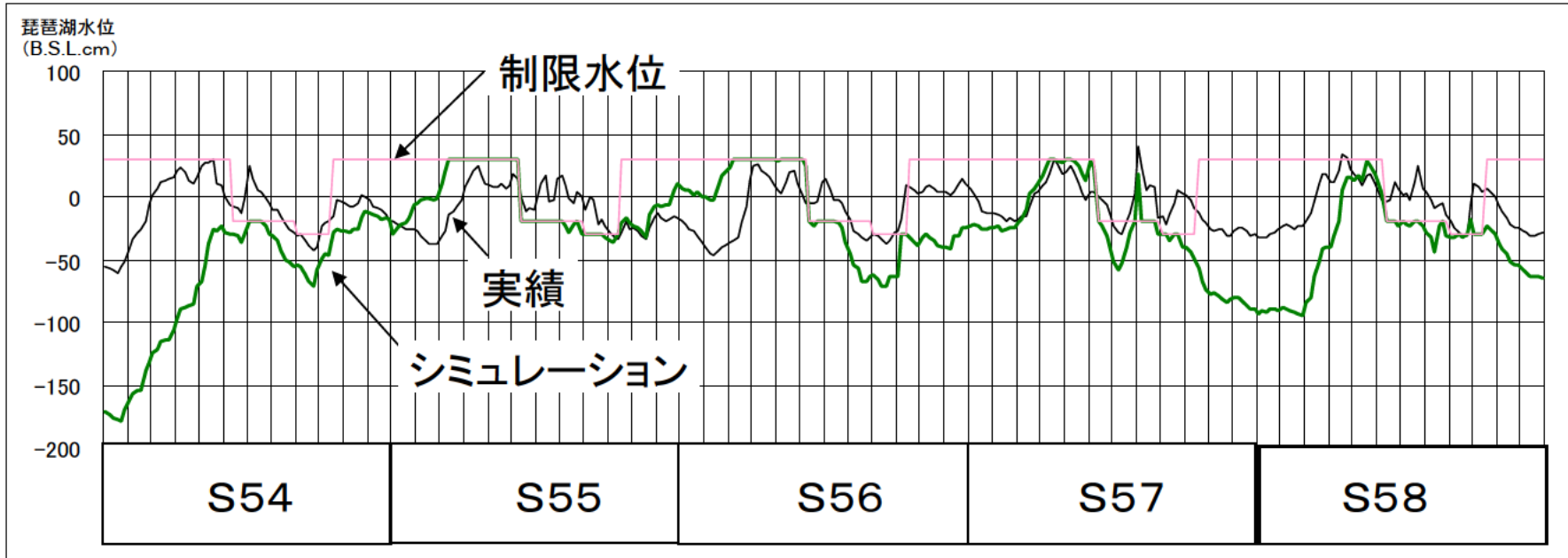
琵琶湖各年最低水位

●—● 実績水位
●—● シミュレーション(実績H4水需要・25m³/s・取水制限なし)

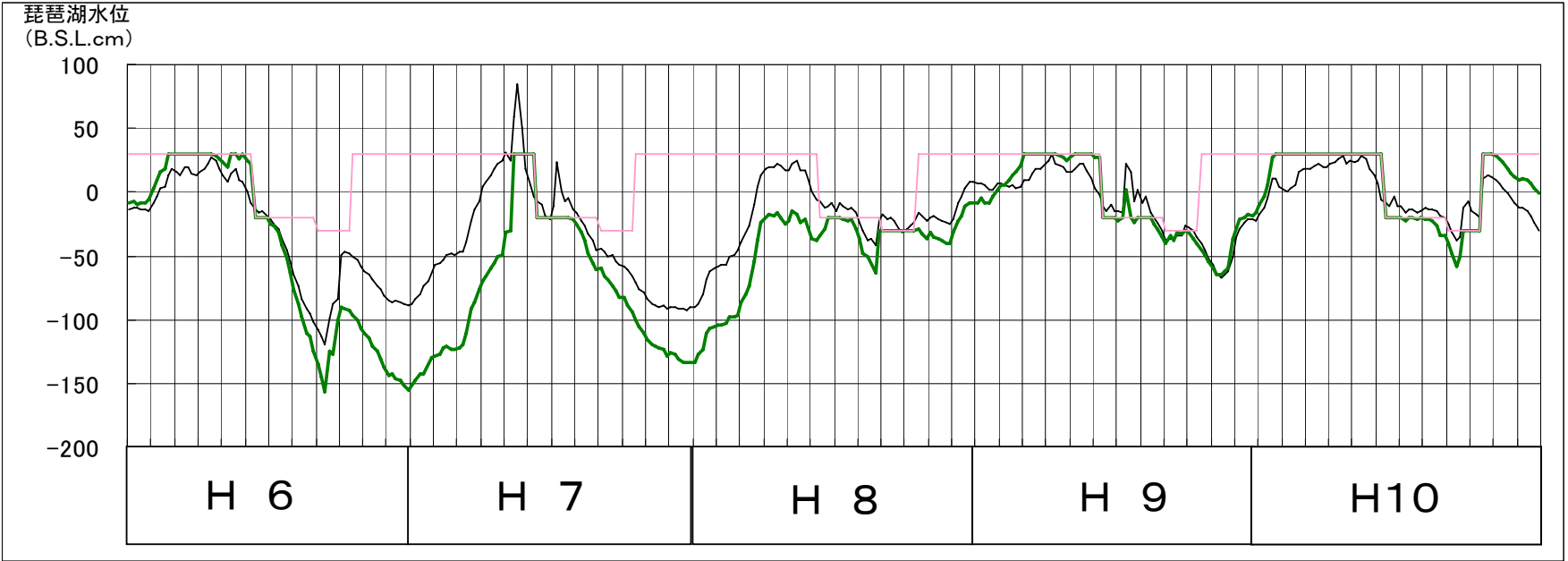
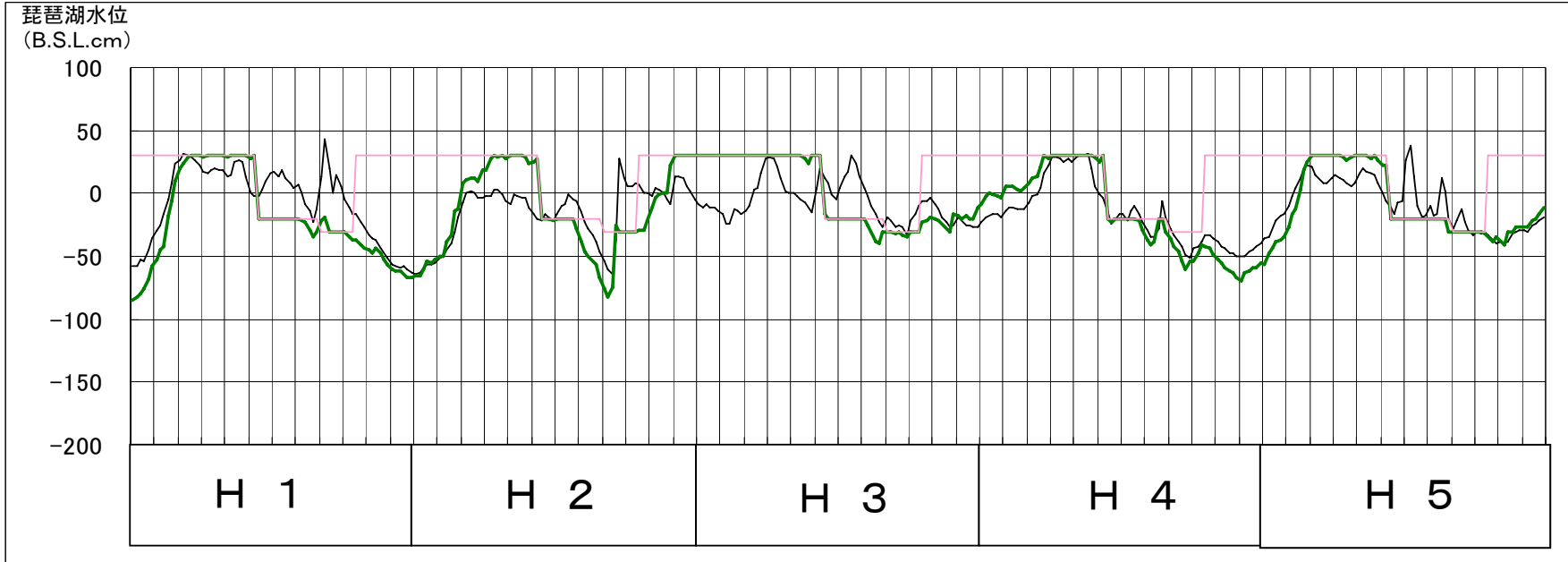




琵琶湖水位シミュレーションと実績(1)



琵琶湖水位シミュレーションと実績(2)



琵琶湖水位シミュレーションと実績(3)